

第85号 春号 発行月：令和7年5月
四天王寺和らぎ苑 季刊誌

和らぎ苑



入所 3階ご利用者 作品

もくじ

1. 看護部長 就任のご挨拶
2. 取り組み NOW!
3. 入所フロアの日常

就任のご挨拶



看護部長 松下すみ子

陽春の侯、皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて 私儀4月1日付けで看護部長に就任いたしましたのでここに謹んでご報告申し上げます。

このような重要な大役を仰せつかり、責任の重さに身の引き締まる思いです。
私たちは、四天王寺福祉事業団の宣言「人の幸せを喜びとして」「人の尊厳と主体的な生活を守り」「安心して暮らせる地域づくり」を目的として社会福祉事業をおこなっています。また、『和らぎ苑の誓い』を念頭に、全身全霊チームで取り組んでまいります。

『和らぎ苑の誓い』とは、

1. 和らぎ苑は一つの家族
2. 職員は専門職（プロフェッショナル）として、
誠心をもって職責を果たす。すべてはご利用者さんの笑顔のために。
3. ご家族も、ご本人を支える大切なパートナー。

以上、3点で、和らぎ苑は“和”で結ばれた大きな家族であり、ご利用者さんお一人おひとりの人生を宝物のように大切にすることを胸に、ご利用者さん中心の、ご家族を含めた多職種協働で支えるチーム医療・療育を目指します。

近いうちに発生すると言われている南海トラフ地震に備えて様々な状況を想定した災害訓練も実施しています。また、職員が長く働き続けられる職場環境づくりに尽力し、必要な人に必要なサービスが提供できる施設であり続けたいと思います。今後ともご指導ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。皆様のご健勝ならびにご多幸を心からお祈り申し上げます。
簡単ではございますが、挨拶の言葉とさせていただきます。

2025年4月1日

取組 NOW!

おむつの取り組み



以前はおむつから排泄物が漏れない様に…思考錯誤しながら職員がそれぞれのやり方でオムツを使用するなど、言わば個人的感覚、個人的手法によりいろいろな充て方が、統一されていないことにより、隙間が生じ排泄物が漏れてなど悪循環を繰り返していました。おむつ使用方法の適正化と排泄物漏れを防ぎ利用者の不快をなくしたい。

そんな思いからおむつの当て方の知識と技術向上を目指して2023年7月におむつのチームが発足しました。ネピア統括アドバイザーの竹村さんにご指導を仰ぎ、職員のおむつに対しての知識、手技を学び、はや1年半が経過した所です。適切なおむつサイズとパッドの使用法の徹底を行いその結果、排泄物の漏れ回数を減らすことができました。また、成果を体感すると職員のおむつに対する意識はかなり変わってきたと感じています。

課題はまだ残っていますが、ご利用者様の快適を求めて励みたいと思っています。

佐田谷支援長、澤田看護師

入所フロアの 日常

5月5日 こどもの日

2階のベランダにこいのぼりを出しました！

みんなでベランダに出て、そよそよ気持ちよさそうに泳ぐこいのぼりを眺めながら、ティータイムを楽しんだり、爪切りをしたり。穏やかな午後のひとときを過ごしました。

